


# 玉造町(たまつくりまち)

	〒 311-3512 〈住所〉 行方郡玉造町甲404 〈TEL〉 0299-55-0111 〈FAX〉 0299-55-0110 〈HP〉 www.town.tamatsukuri.ibarakijp 〈e-mail〉 soumu@town.tamatsukuri.lg.jp	地域指定 特定防衛施設	一部事務組合加入事業 ごみ処理, 火葬場, 消防救急, 税滞納整理, 職員の退職手当・ 公務災害等	公営企業 上水道
	類型 4-2 地方公共 団体コード 084255 面積 51.25 km <sup>2</sup>			

## <行政組織>

### ①三役(H17. 5. 1現在)

長	さかもと としひこ 坂本 俊彦 (64歳)	任期	H15.1.29~ H19.1.28
助役	欠員	収入役	栗又 敏治

### ②議会(H17. 5. 1現在)

議長	高野 貫一	副議長	成嶋 常松
任期	H19.12.31	条例定数	18名
党派別	無18	現議員数	18名

### ③職員数(H16. 4. 1現在)

全職員数	普通会計関係	うち一般行政関係	公営事業 会計関係
141	121	88	20
一般行政職の 平均給与月額	3,235 百円	ラスパイレス指数	96.0
全職員数 の推移	H13. 4. 1	H14. 4. 1	H15. 4. 1
	154	145	146

### ④機構図(H17. 4. 1現在)

<町長> - <助役> -

総務課—行政グループ, 財政係  
 企画課—企画調整グループ  
 税務課—住民税係, 収納管理係, 資産税グループ  
 生活環境課—環境係, 消防交通係  
 建設課—管理係, 工務係, 計画営繕係  
 経済課—振興グループ, 営農グループ, 商工観光係

(有機肥料供給センター)

町民課—住民係, 国保・年金グループ  
 福祉課—福祉グループ, 介護保険係

(保健相談センター・老人いこいの家)

下水道課—下水道グループ  
 <水道事業管理者>水道課—業務係, 施設係  
 <収入役>会計課—会計係  
 <教育長>学務課—学校教育グループ

(給食センター)

生涯学習課—社会教育係, 社会体育係

(中央公民館・町立図書館・町民運動場)

<議会>議会事務局—  
 <行政委員会>選挙管理委員会, 監査委員事務局, 農業委員会事務局

## <概要>

### ①沿革

昭和30年 1月 1日 町制施行  
 玉造町  
 (明治22年施行), 立花村, 現原村, 手賀村, 玉川村が合体

### ②地勢・風土等

霞ヶ浦(西浦)と北浦に挟まれ, 鹿島・東茨城・新治郡に接する行方地方西北部に位置する豊かな風土に育まれた歴史と文化を誇る田園地帯です。  
 「人と自然が共生したまち—玉造」をめざす「玉造町長期総合計画」により, 公共下水道等の生活環境基盤整備, 子育て支援体制づくり等の教育福祉の向上, 農業や霞ヶ浦ふれあいランドを核とする観光産業の活性化と振興に努めている。

### ③人口・世帯数

区分	国勢調査			常住人口 (H17. 4. 1)
	H2	H7	H12	
人口	男	6,958	7,019	6,871
	女	7,151	7,165	7,069
	合計	14,109	14,184	13,940
世帯数	3,482	3,613	3,747	3,965

### ④有権者数(17. 3. 2現在)

有権者数	男	女	計	高齢人口割合 22.6 %
	5,534	5,709	11,243	

### ⑤高齢人口割合 (H12国調)

## <産業・経済>

### ①生産・所得(平成14年度)

市町村内総生産	434 億円	就業者1人当り	6,689 千円
住民所得	302 億円	人口1人当り	2,187 千円

### ②産業構造

区分	総生産額(H14年度)		就業人口(H12国調)	
第1次	3,751	8.4 %	1,704	23.2 %
第2次	15,200	34.0 %	2,387	32.5 %
第3次	25,759	57.6 %	3,240	44.1 %
総額・総数	44,710	—	7,351	—

### ③農業・工業・商業

農業 (H12. 2. 1)	農家数	農業就業人口	農業産出額 (H14.1.1~12.31)
	1,425	2,031	6,710
製造業 (H15. 12. 31)	事業所数	従業者数	製造品出荷額等 (H15.1.1~12.31)
	57	1,413	29,699
卸・小売業 (H14. 6. 1)	商店数	従業者数	年間販売額 (H13.4.1~14.3.31)
	180	815	16,742

### ④特産物

イチゴ, エシヤレット, セリ, シュンギク

<財政状況>

①決算収支

(千円・%)

区分	H14決算	H15決算	増減率
歳入	5,871,974	5,884,934	0.2
歳出	5,673,166	5,606,918	△ 1.2
形式収支	198,808	278,016	—
実質収支	194,158	278,016	—
単年度収支	△ 59,132	83,858	—
実質単年度収支	△ 159,103	△ 16,138	—

②主な歳入・歳出(平成15年度)

(百万円・%)

区分	決算額	構成比	増減額	増減率
<b>歳入</b>	5,885	—	13	0.2
地方税	1,244	21.1	△ 28	△ 2.2
地方交付税	1,614	27.4	△ 187	△ 10.4
国庫支出金	461	7.8	102	28.4
地方債	740	12.6	232	45.7
うち臨時債費	387	6.6	—	—
その他	1,826	31.0	—	—
<b>歳出</b>	5,607	—	△ 66	△ 1.2
義務的経費	1,996	35.6	1	0.1
人件費	1,137	20.3	△ 39	△ 3.3
扶助費	409	7.3	27	7.1
公債費	450	8.0	13	3.0
投資的経費	989	17.6	—	—
普通建設事業費	989	17.6	△ 227	△ 18.7
うち補助	262	4.7	129	97.0
うち単独	721	12.9	△ 346	△ 32.4
その他の経費	2,622	46.8	—	—

③主要指標(平成15年度)

区分	指数等
基準財政収入額(H16)	1,339 百万円
基準財政需要額(H16)	2,595 百万円
標準税収入額等(H16)	1,743 百万円
標準財政規模(H16)	3,001 百万円
財政力指数(H14~H16)	0.476
経常収支比率	88.6 %
公債費負担比率	9.9 %
起債制限比率(3か年平均)	9.7 %
税の徴収率(過年)	6.5
税の徴収率(現年)	96.1
税の徴収率(合計)	70.1

④将来にわたる財政負担(平成15年度)

(単位:千円・%)

区分	金額	比率
地方債現在高(A)	3,641,758	118.0
債務負担行為による翌年度支出予定額(B)	240,434	—
実質債務残高(C=A+B)	3,882,192	125.8
積立金現在高(D)	2,061,514	66.8
将来にわたる財政負担(E=C-D)	1,820,678	59.0

⑤市町村税の状況(平成15年度)

(千円・%)

区分	調定額	収入額	徴収率
市町村民税(構成比)	457,733 ( 25.8 )	390,680 ( 31.4 )	85.4
固定資産税(構成比)	916,256 ( 51.7 )	736,117 ( 59.2 )	80.3
その他の税(構成比)	399,088 ( 22.5 )	116,856 ( 9.4 )	29.3
合計	1,773,077	1,243,653	70.1

<公共施設整備状況>(平成15年度)

小学校	6校	老人福祉施設	0か所
中学校	1校	病院・診療所	11か所
幼稚園	4園	道路改良率	4.0 %
保育所	3か所	道路舗装率	43.1 %
図書館	1か所	ごみ焼却処理率	64.6 %
公営住宅	49戸	し尿衛生処理率	47.3 %
公民館等	6か所	上水道等普及率	93.3 %
体育館	1か所	排水等処理率	47.9 %
プール	3か所	施設充足率(公立幼稚園保育所)	98.0 %
児童館	0か所		

※老人福祉施設以下の数値は平成14年度調査による

<主要施策等>

①主要施策実施状況

(百万円)

名称	期間	内容	概算事業費
統合幼稚園建設整備事業	H16~H18	基本設計及び実施設計既存園舎の改築及び増築幼児教育及び預かり保育の充実	500
玉造中学校改築工事	H15~H21	基本構想策定 基本計画及び実施設計の策定 校舎改築請負工事	2,500
玉造北部地方農業集落排水事業	H12~H20	町北部(捻木・芹沢・上山・若海・羽生一部)地区の農業集落排水事業 処理人口 1,680人	3,320
特定環境保全公共下水道事業	H7~H25	下水道終末処理場整備 計画面積 346ha	16,700
防衛施設周辺道路整備事業	H16~H17	町道10号線	175

②今後の主要課題・特色ある行政等

<主要課題>

- ・市町村合併の推進
- ・行政改革及び財政健全化施策の推進
- ・公共下水道・農業集落排水事業の推進
- ・協働型コミュニティ地域福祉の推進
- ・中学校建設及び老朽化した小学校の建替え

<特色ある行政>

- ・子育て環境整備のための教育福祉施策の推進
- ・玉造型ワークシェアリング、パブリック・キャリア・バンクの有効活用